

特定保守製品  
日本国内専用

TOTO

浴室換気暖房乾燥機

TYR621型

■この商品は、平成21年4月1日施行の消費生活用製品安全法(消安法)で指定される「特定保守製品」です。  
■商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
■取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

Table with 2 columns: 表示 (Warning symbols) and 意味 (Meanings: 警告, 注意, 一般禁止, 分解禁止, 必ず実行)

Table with 2 columns: 表示 (Prohibition symbols) and 意味 (Meanings: 回転物禁止, アースを必ず接続せよ, 必ず実行)

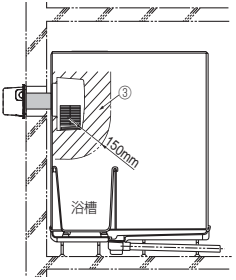
Table with 2 columns: 注意 (Warnings) and 意味 (Meanings). Includes sections for 警告 (Warning) and 注意 (Caution) with detailed instructions on electrical safety and installation.

Table with 2 columns: 注意 (Caution) and 意味 (Meanings). Includes instructions on installation location, avoiding heat, and ensuring proper ventilation.

お願い

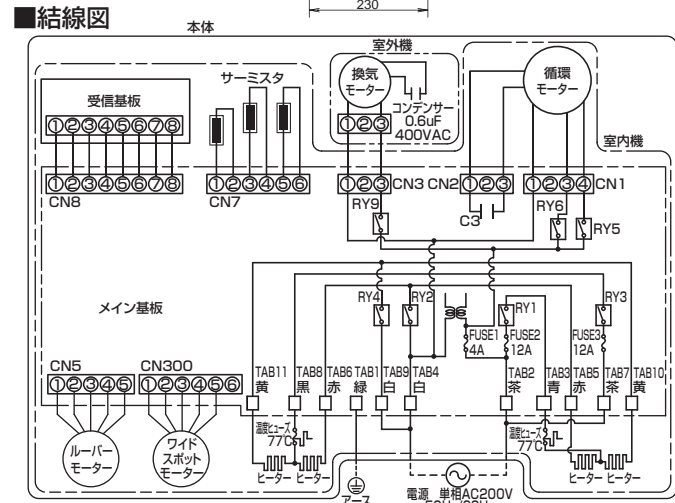
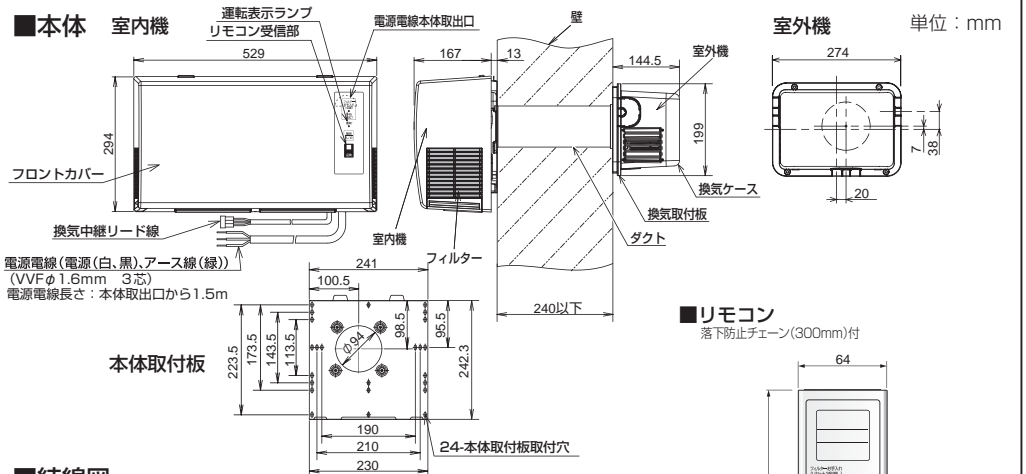
- 商品本体は傾かないよう(水平)に設置してください。
■浴室の広さは、以下をゆやすとしてください。
■2階以上の足場が無いところへの設置はしないでください。
■ベンジン・シンナーなどの有機溶剤を使う場所に取り付けしないでください。
■商品の取り付けには下記のような規制を受けますのでご確認ください。
■設置場所は一階住宅の浴室に限ること。
■本体は壁面に堅固に取り付けること。
■浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方150mm未満の範囲内には、造営材など(乾燥する衣類、照明器具、手すりを含む)を設けないこと。
■漏電遮断器を設けること。

- 壁厚240mm以下の壁に取り付けてください。
■一般家庭の浴室に取り付けてください。
■TOTO製以外のユニットバスで鋼板の厚さが0.45mm未満の場合は壁補強を行ってください。
■温泉または温泉を取り込んだ浴室に取り付けしないでください。
■スチームサウナ・ミストサウナ付の浴室に取り付けしないでください。
■油煙の発生する場所に取り付けしないでください。
■スプレーを使う場所に取り付けしないでください。
■高温になる場所に取り付けしないでください。
■本体は、テレビ、ラジオ、無線機およびそのアンテナ線から0.5m以上離して施工してください。
■工事の際に、商品本体内部へ石膏ボードの粉などの侵入がないよう、十分注意してください。
■樹脂製部品取り付けの際は、ねじを締めすぎて商品を破損させないよう、締め付方に十分注意してください。
■効果的な換気のため、吸気口を必ず設置してください。
■本体、リモコンは直射日光や蛍光灯の近くなどの強い光が当たる場所に設置しないでください。
■ランドリーパイプの取り付け位置は、当社推奨位置の寸法で取り付けてください。



各部の名称と寸法

お願い この商品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。



- 付属品 末尾の数字は数量をあらわします。
ダクト 1
タッピングねじ(φ4×50) 10
タッピングねじ(φ4×16 黒) 2
エバタイトねじ(φ4×8 グレー) 4
タッピングねじ(φ4×12 黒) 4
タッピングねじ(φ4×16) 2
パッキン 1
バンド 1
差込形コネクタ 3
キャップ 3
アルミテープ 3
取扱説明書 1
施工説明書(本書) 1
取付設置業者様へのおお願い 1
乾電池(単4形) 2

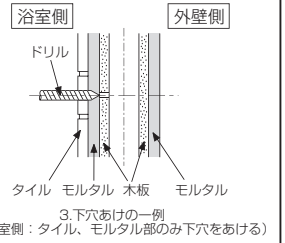
Table with 4 columns: 電源電線, アース線, アース棒, 防水ジョイントボックス, ランドリーパイプ, アンカープラグ, タッピングねじ, シリコンコーキング材・パテなど, ロングドライバー. Lists required materials and their specifications.

1 設置位置の決定

- 1. 機器を設置する壁は外壁であること。
2. 室内機の周囲に適切なすき間があること。
3. 室外機の排気口(左側面)には50mm以上のすき間があること。
4. リモコンは本体が受信できる位置に取り付ける。

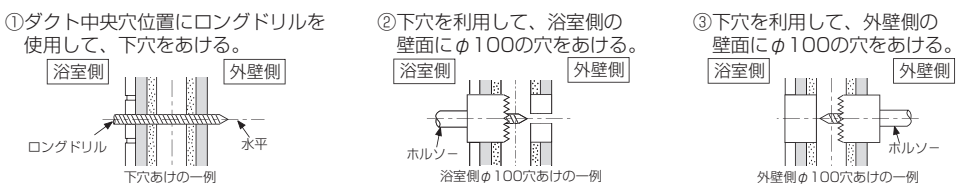
2 本体取付板の設置

- 新規に丸穴をあける場合
1. 本説明書裏面の型紙を水平に壁にあて、ダクト中央穴位置と本体取付板ねじ穴位置(6カ所)の印を壁に付ける。
2. 下穴をあける前に、本体取付板を印を付けた穴位置に合わせ、水準器を使用して水平度を再度確認する。
3. 本体取付板ねじ穴位置に下穴をあける。
■浴室の内・外壁の現状確認を行い、タイル・壁等が損傷している場合には、お客様に説明し、了解を得ておくか、事前に補修を行っていただく。
■タイルやタイル目地での下穴あけについては、タイルを破損しないよう十分注意してください。
■ねじ締め前に下穴の周囲にシリコンを塗布してください。
■下穴径は、壁面の材質に合わせてあけてください。 ※ユニットバスの場合、下穴径φ2.8以下とする。





### 4.ダクト穴をあける。(φ100)



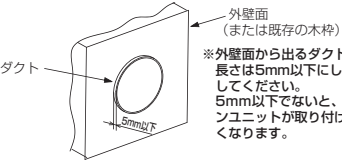
#### お願い

下穴をあける前に、壁打ちセンサーなどを使用して、間柱・筋かいがないか確認してから作業をしてください。

■壁材質によって、ホルソーを選定してください。  
(参考) タイル、モルタル…ダイヤモンド  
木板…木工用  
塩ビ鋼板…板金用

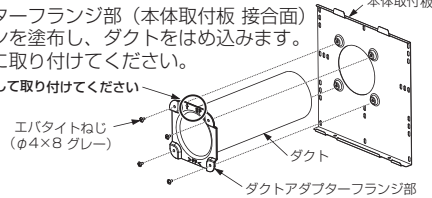
### 5.ダクトの長さを調節する。

■同梱のダクト先端が外壁面(または既存の木枠)と同じ長さになるように、切断用ノコギリを使用して切断します。



### 6.ダクトを本体取付板に付属のエバタイトねじ(4個)で取り付ける。

■ダクトアダプターフランジ部(本体取付板 接合面) 全周にシリコンを塗布し、ダクトをはめ込みます。  
■ダクトは水平に取り付けてください。  
「凸」を上方向にして取り付けてください



### 7.本体取付板を浴室側の壁にタッピンねじ(6個)で取り付ける。

■この商品は室内機で7.1kgあります。本体取付板は、堅固に、また確実に密着するように取り付けてください。

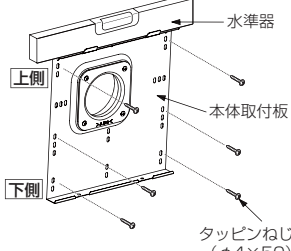
■タイル壁・モルタル壁の場合、市販のアンカープラグを使用して、確実に取り付けてください。

■ユニットバスの場合、下穴にシリコンを注入し、ねじは手締めして取り付けてください。

※ユニットバスと建築躯体間のすき間が小さい場合、躯体を傷つけないよう市販の短いタッピンねじ(φ4・SUS304製)を使用してください。

■水準器などで水平を確かめてから取り付けてください。

**お願い**  
ねじ固定に使用しない穴はすべて付属のアルミテープでふさいでください。風漏れの原因となります。



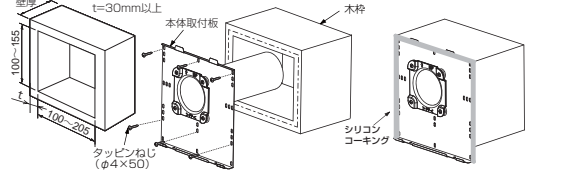
### 8.本体取付板を取り付け後、本体取付板周囲(下辺を除く)およびねじ止め部をシリコンでコーキングする。

■水抜きのため下辺はシリコンコーキングしないでください。

#### 既存の木枠を使用する場合

上記、5~8の作業を行う。

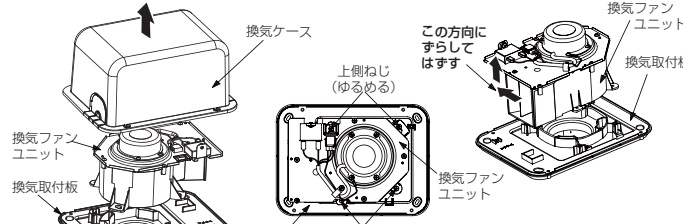
**お願い**  
ねじが木枠の厚さの真ん中にくるようねじ穴を選んでください。



## 3 換気取付板の取り付け

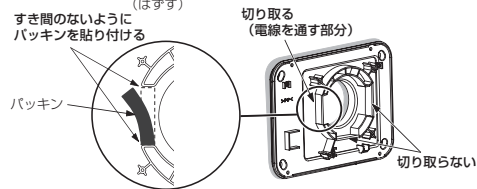
1.室外機から換気ケースを取りはずし、換気ファン部分の下側ねじ(2個)をはずし、上側ねじ(2個)をゆるめ、換気ファンユニットを取りはずす。

**お願い**  
ねじは、再度取り付けをします。なくさないようにしてください。



2.電線を通す部分を切り取り、切り取った部分にすき間のないようにパッキンを貼り付ける。

**お願い**  
必ず指定された部分(1カ所)だけ切り取ってください。(パッキン貼付面はていねいに切り取ってください)

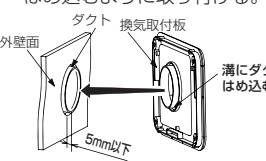


3.換気取付板を外壁面に取り付け。

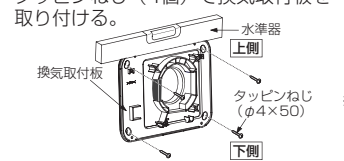
①換気取付板の溝にダクトをはめ込むように取り付け。

②水準器で水平を確認しながら、付属のタッピンねじ(4個)で換気取付板を取り付ける。

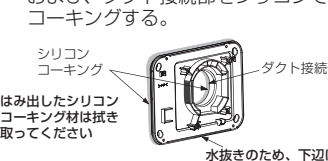
③換気取付板の周囲(下辺を除く)および、ダクト接続部をシリコンでコーキングする。



**お願い**  
外壁面より出るダクト先端の長さが5mm以下であることを確認してください。



**お願い**  
■換気取付板には、取り付け方向があります。間違えないよう取り付けしてください。  
■室外機は 1.7kgあります。堅固に、また確実に外壁面に密着するように取り付けしてください。  
■取り付け壁がタイル等の場合、ねじが取り付けられないことがあります。その時は、市販のアンカープラグを使用してください。



**お願い**  
この面には、シリコンがつかないようにしてください。カバ-を付けたときすき間ができ、雨水が内部に侵入しやすくなります。

## 4 室内機の取り付け

1.換気中継リード線と電源電線をダクトの穴に通す。

2.室内機の引っ掛け穴を本体取付板のつめに引っ掛ける。

3.換気中継リード線と電源電線をたるみがないようにダクト穴の中に押し込む。

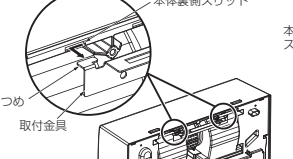
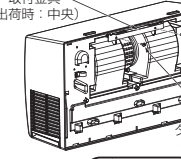
■浴室側から見てダクト穴が左寄り(または右寄り)に開いている場合は、商品裏面の取付金具を下図のようにすらし取り付け、本体取付板に引っ掛けてください。

#### 取付金具のすらしかた

①取付金具のタッピンねじ(2個)をはずす。

②本体裏側スリットから、取付金具のつめを左へスライドさせてはずす。

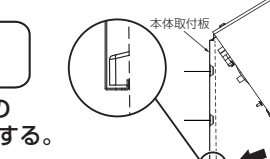
③取付金具の位置を左側(または右側)にすらしして、本体裏側スリットに差し込み、タッピンねじ(2個)で取り付ける。



**お願い**  
ねじは再度取り付けをします。なくさないようにしてください。

4.室内機固定部を本体取付板の上側に差し込み、室内機を固定する。

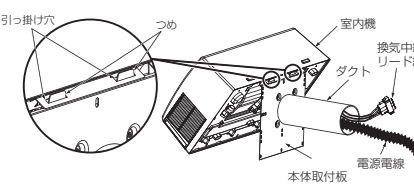
**お願い**  
室内機固定部が本体取付板の上側に入っていないと固定できません。



5.本体取付板と室内機を付属のタッピンねじ(2個)で固定する。

**注意**  
忘れずに必ず固定してください。(ロングドライバーにて手締めで取り付けてください)ねじ締め後、確実に固定されていることを確認してください。

**お願い**  
室内機の奥にあるのでフロントカバーの切り欠き部を参考に位置を確認してください。



## 5 換気ファンユニット・換気ケースの取り付け

1.電源電線先端の結束バンドを取り除き、換気取付板の矢印(ラベル)の範囲内にコルゲートチューブの端をあわせて、電源電線先端のコルゲートチューブは、すらしただけ取り除く。

■電源電線(灰色の被覆)を傷つけないように注意してください。

■ダクト内にコルゲートチューブを入れないでください。(換気運転時、異音が発生するおそれがあります。)



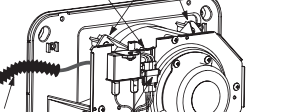
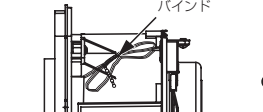
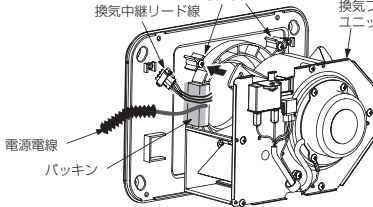
2.換気ファンユニットを上側ねじ(2個)に引っ掛ける。

■換気中継リード線と電源電線は左側面のパッキンより取り出してください。

3.換気ファンユニットをねじ(4個)で固定し、換気中継リード線をエッジホルダー内を通し、接続する。

■余った換気中継リード線は付属のバンドにより、結束しておきます。

●左向きに電源電線を取り出すねじを締め付ける



**お願い**  
エッジホルダー内を通さない、ケース取り付け時にリード線をはさむおそれがあります。

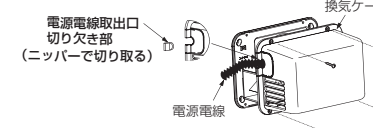
**お願い**  
換気中継リード線の接続を確認してください。

4.換気ケースを取り付ける。

①換気ケースの電源電線取出口切り欠き部をニッパーを使って切り取る。

■電源電線取出口は換気ケースの左側の切り欠き部1カ所のみ切り取ってお使いください。

②電源電線取出口から電源電線を取り出し、付属のタッピンねじ(4個)で換気ケースを固定する。



③電源電線取出口をシリコンでコーキングする。

■はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください

**お願い**  
換気中継リード線の接続を確認してください。

#### 必ず実施してください

■電源電線取出口は、バリがないように切断してください。バリがあると、電源電線を傷つけるおそれがあります。

■換気ケース取り付けのとき、リード線などはさみみに十分注意してください。

■必ずシリコンコーキングしてください。シリコンコーキングしないと、機器内部に雨水が浸入します。

## 6 電源の接続

防水ジョイントボックス(市販品)の中で、電源電線(アース線含む)を付属の差込形コネクタとキャップを使い、結線する。

■電源電線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。

■電源電線は途中で切断しないでください。

■電源は必ず分電盤の専用ブレーカーに接続してください。

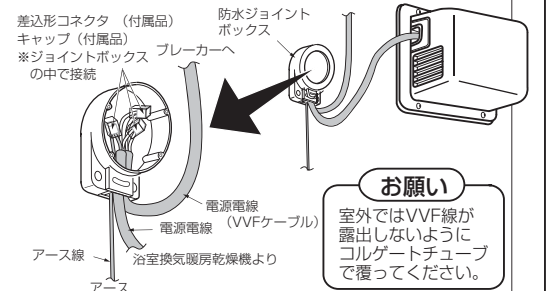
■電源電線のアース線は必ず接続してください。[D種接地工事]

■電源は必ずAC200Vを使用して、電源電線先端は付属の差込形コネクタの奥まで確実に挿入してください。

■間違った電源を使用したり不十分な配線をする、火災や故障の原因となります。

■電源電線はバンドなどで束ねて収納しないでください。発熱により発火のおそれがあります。

■プラグは使用しないでください。



**お願い**  
室外ではVVF線が露出しないようにコルゲートチューブで覆ってください。

**お願い**  
差込形コネクタは付属のキャップを奥まで被せてください。

↑ VVF線が見えないようにコルゲートチューブを押し込む

## 7 リモコンの取り付け

1.取り付け位置を決定する。

■リモコンには約300mmの落下防止チェーンが付いています。(取り付け位置はお客様とご相談のうえ決定してください)

**浴室外設置の場合**

■浴室のドアを開けてリモコン受信部に向けて無理なく操作できる位置に設置してください。

**浴室内設置の場合**

■シャワーなどの水がかかりにくい場所に設置してください。

■浴槽の上は避けてください。

■取り付けの高さは浴槽より650mm以上高くしてください。「■」に合わせる。

■洗い場側の壁面に取り付けしてください。(商品を取り付けている壁面への設置はしないでください。)

■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理を行ってください。

■はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

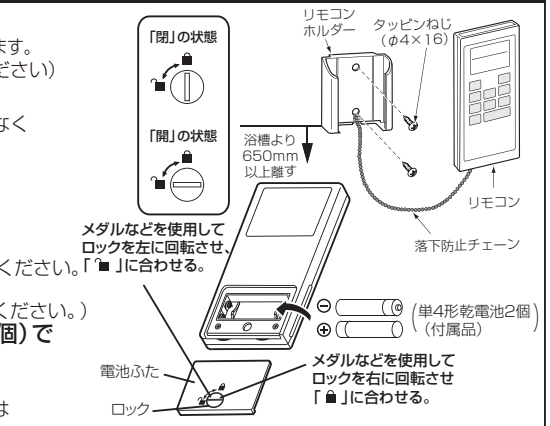
■リモコンホルダーを付属のタッピンねじ(2個)で固定する。

■取り付け位置が石こうボードやタイルなどの場合、ねじが取り付けられないことがあります。その際は市販のアンカープラグを使用してください。

■浴室内設置の場合はねじ穴は必ずシリコンでコーキング処理を行ってください。

■はみ出したシリコンコーキング材は拭き取ってください。

3.リモコンに電池を入れる。



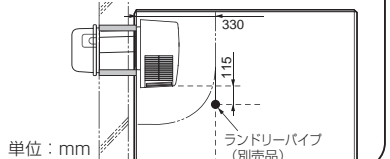
**お願い**  
電池ふたを開閉するときはメダルなどを使用してください。ドライバーを使用するとロックが破損する可能性があります。

■電池ふたのロックは表示されているマークの範囲位置を超えないように回してください。

## 8 ランドリーパイプの取り付け

右記の位置に、ランドリーパイプ(別売品)を取り付ける。

■指定の寸法以外で取り付けますと、乾燥時間が長くなります。



## 9 試運転

取扱説明書の「使いかた」のページを参照し、試運転を行い異常がないか確認する。

異常についての内容、処置については取扱説明書の「故障かな?」のページを参照する。

■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、取扱説明書とともにお客様にお渡しください。

<試運転の内容>

1. 各モードのボタンを押して、正常に動作していることを確認する。(全モード)

2. 止ボタンを押して、運転を停止させる。

## 10 確認事項のチェック

右記の確認表に従い、確実に施工したかを再度確認してください。

チェック内容	チェック欄
商品はしっかり付いていますか?	
商品の周囲に適切なすき間がありますか? ([1] 設置位置の決定を参照)	
ランドリーパイプの取り付け位置は正しいですか? ([8] ランドリーパイプの取り付けを参照)	
異常音はありませんか?	
電源電線・アース線の接続は確実に行われていますか?	
電源は単相AC200Vに接続されていますか? (AC100Vに接続されると動作しません)	

■工事店様へ

施工後は、同梱の「取扱説明書(保証書付き)・所有者票セット」をお客様へお渡ししてから、商品の使いかたを説明してください。取扱説明書に付属の保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。